

男女が共に輝くには～男女共同参画社会の実現に向けて～



「男だから」、「女だから」と性別で決め付けてしまうことはありませんか？私たちが個性や能力を發揮し、イキイキと生活するためには、性別に関係なく人として互いに尊重し協力しあうことが大切です。

ここでは、男女共同参画の実践方法を事例を中心に紹介します。



問合せ先

男女共同参画課

(☎51・2188 ☎56・1081 <http://www.city.toyohashi.aichi.jp/danjo/index.html>)

男女共同参画社会とは

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を十分に發揮できる社会をいいます。

性別で役割を決めつけない

「男はリーダーとして人の上に立つ」、「女は男の補助」など、性別で個人の生き方や役割を決め付けてしまうと、その人の持つ個性や能力を活かすことが難しくなります。

また、最近では女性の社会進出が進み共働き家庭が増えていますが、「男は仕事、女は家庭」という性別による役割分担意識が強いと、女性は仕事、家事、育児、介護と負担が増してしまい、一方男性の中には家庭に関われないまま定年退職を迎え、家族や地域とコミュニケーションが上手く取れない人もでてきます。

男女共同参画社会の実現に向けて

男女がイキイキと暮らせるまちづくりができるよう、豊橋市では平成16年に豊橋市男女共同参画推進条例を制定し、個性と能力を活かせる男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを行っています。また、国においては21世紀の日本の社会を決定する最重要課題と位置付けています。しかし、その実現には行政だけでなく市民一人ひとりの協力と実践が必要です。

利用してみませんか

男女共同参画社会実現に向けた事業の一部を紹介いたします。ぜひ利用し、皆さんの生活に役立ててください。

とよはしファミリー・サポート・センター

育児の手助けがほしい人（依頼会員）と育児の援助ができる人（援助会員）のネットワーク組織です。援助会員は都合のつく日時を登録し、自宅での託児や保育園の送り迎えなどをします。（詳細は本紙14ページ参照）

事業所向け男女共同参画出前講座

市内の事業所に専門家を無料で派遣し、セクハラや女性の積極的な登用、仕事と家庭の両立などに関する学習会を実施します。社員研修に活用してください。（詳細は本紙14ページ参照）

参加してみませんか

第21回豊橋男女共生フェスティバル

男女共同参画社会の実現に向け「人が育ち、まちが育つ社会へ」をテーマに、落合恵子さんの講演や分科会などを開催します。

とき 11月25日(日) ところ ライフポートとよはし(神野ふ頭町)(詳細は本紙10ページ参照)

声 仕事と家庭、両立の秘訣は制度の活用！

ファミリーサポート制度を利用している
平原さんの場合



子どもたちの明るく元気な声が響く平原さん一家

妻の信子さん 夫婦どちらも仕事をしているので夫と協力し、家事はやれる方がやっています。出張や残業もありますが、学校行事にはどちらかが参加し、ファミリー・サポート・センターを利用しながら、子どもたちと毎日元気に暮らしています。
夫の武さん 子どもが大きくなったら、今度はこちらが他の家庭の子育ての援助をする側になりたいです。父親同士の情報交換会等、男性が子育てしやすい環境も整っていくとよいですね。

周囲の協力などにより、本人の希望ではない退職を減らすことができます。各種制度の活用、そして男女共に家庭生活等との両立がしやすい職場づくりが男女共同参画社会の実現につながります。

声 料理は夫婦円満の秘訣！

料理にチャレンジ中の柴田さんの場合



石巻シニアシェフクラブの柴田さん(写真中央)

毎月2回、みんなでワイワイ楽しく料理を作っています。メンバーは男ばかりで、市民館の料理講座の受講後に自主グループを結成し、料理を学び続けています。最初はみなさん包丁を持ったこともなかったのですが、今では魚をおろして刺身を作ることまでできるようになりました。
家の台所に入ることも、家事をすることも、抵抗がなくなりましたね。料理は男の自立や健康、それに夫婦円満の秘訣ですよ。メンバーは随時募集しているので、興味のある方は一緒にいかがでしょうか。

これまで妻だけが担ってきた料理を、夫も担うことは、妻の家事負担の軽減や夫の生活面での自立はもちろん、家族のコミュニケーションの材料としても役立ちます。

声 能力発揮！秘訣は途中であきらめないこと！

好きな分野で活躍している入部さんの場合



新しいシステムの開発に取り組む入部さん

豊橋技術科学大学情報メディア基盤センターで、学生の理解度に合わせ学習を支援するシステムの開発に携わっています。
女性の少ない分野ですが、仕事仲間や家族の協力を得ながら、精力的に研究や教育活動に取り組んでいます。そして、なにより小さいころから好きだった世界で仕事ができるので、楽しさややりがいを感じています。
私はまもなく産休に入りますが、出産後も研究成果を上げることには努力を傾注していくつもりです。

女性が女性の少ない分野で、男性が男性の少ない分野で仕事をする場合、職場や家族の協力や理解はもちろん大切ですが、本人の強い意志も周囲を変える力となります。